

第一種特定製品点検業務特記仕様書

1 業務内容

院内に設置されているフロン排出抑制法に規定する第一種特定製品について点検を行う。

2 業務仕様

(1) 点検・保守の範囲は「3 機器仕様」による。

(2) フロン排出抑制法に基づき、定期点検及び簡易点検を行う。

(3) 点検方法及び周期は下記のとおりとする。

① 圧縮機（コンプレッサー）の定格出力が 7.5kW 以上 50kW 未満のマルチ型空気調和機は 3 年に 1 回、定期点検を行うこと。なお、本契約期間においては令和 6 年 3 月末までに行うこと。

② 圧縮機（コンプレッサー）の定格出力が 7.5kW 未満のマルチ型空気調和機、パッケージ型空気調和機、設備用インバーター、冷凍庫、冷蔵庫は 3 ヶ月に 1 回、簡易点検を行う。

(4) 記録・保管等については下記のとおりとする。

① 簡易点検を実施した場合は、フロン排出抑制法に準拠した点検簿に記録し、保管する。

② 定期点検を実施した場合は、フロン排出抑制法に準拠した点検簿に記録し、保管する。

③ 修理等を実施した場合は、その履歴をフロン排出抑制法に準拠した点検簿に記録し、保管する。

④ 冷媒の漏えいまたは故障等を確認した場合は、総務経営課総務係に報告する。

3 機器仕様

(1) 対象機器

① マルチ型空気調和機（7.5kW 以上 50kW 未満）	1 台
② マルチ型空気調和機（7.5kW 未満）	24 台
③ パッケージ型空気調和機（7.5kW 未満）	61 台
④ 設備用インバーター（7.5kW 未満）	1 台
⑤ 冷凍庫（7.5kW 未満）	2 台
⑥ 冷蔵庫（7.5kW 未満）	11 台

(2) 対象機器詳細は【フロン排出抑制法対応 フロン冷媒機器一覧】による。

4 定期点検実施に必要な有資格者

定期点検については、フロン類及び第一種特定製品の専門点検の方法について十分な知

見を有し、以下（１）から（２）までのいずれかに該当するもの（以下、「有資格者」という。）を責任者として置くこと。ただし、第三者の協力を得て実施しようとするときは、契約書第９条により、その旨を書面によって甲の承認を受けること。

（１）第一種冷媒フロン類取扱技術者

（２）以下のアからオまでのいずれかの資格等を有し、かつ、点検に必要となる知識等の習得を伴う講習を受講したもの。

ア 冷凍空調技士

イ 高圧ガス製造保安責任者（冷凍機械）

ウ 高圧ガス製造保安責任者（冷凍機械以外）で、機器の製造又は管理に関する業務に５年以上従事したもの。

エ 冷凍空気調和機器施工技能士

オ 高圧ガス保安協会冷凍空調施設工事事業所の保安管理者